

津波災害と学校(その2)

学校に課せられた緊急時の役割とは？



南三陸町立戸倉小学校では津波からの模範的な避難行動が取れたとのことで、ぜひ状況を確認したいと思い現地を訪ねてみた。戸倉小学校はすでに解体されてなくなっていたが、やはり現地に来てみないと理解できないことが沢山あって、大いに勉強させられた。 [撮影:2013.7.20.]



五十鈴神社から見た折立地区



東日本大震災記念碑

木末の人々へ

「地震があったら、この地よりも

高いところへ逃げること」

二〇一一年三月十一日午後二時四十六分、東日本大震災発生。
マグニチュード九・〇の超巨大地震により、約四十分後、予想を
よかに超える巨大大津波が押し寄せ、最高水位が本記念碑まで
到達した。

ここ五十鈴神社に戸倉保育所の園児十八人、戸倉小学校の
児童九十一人の他教職員、地区住民等百九十人余りが避難し
一夜を明かして難を逃れた。太平館高台、古館高台に避難した
地区住民は安全であったが、戸倉中学校や五十鈴神社下の
三野野高台他に避難した住民に多数の死者・行方不明者が出た。

折立地区の被害状況

死者・行方不明者	三十九人
被災住宅 全壊	百三十戸
大規模半壊	二戸（全戸被災）
津波浸水高	二十三メートル

二〇一二年十一月吉日

折立契約講

五十鈴神社の石段下に設置された東日本大震災記念碑の碑文

南三陸町立戸倉中学校



↓五十鈴神社

仮設住宅の居住者から小学生が避難した五十鈴神社の場所を教えてください。



高台上の戸倉中学校



戸倉中学校の校庭に建設された応急仮設住宅



高台上の戸倉中学校も津波に襲われた。津波は時計の所まで達し、校庭の避難者も犠牲になっている。



←津波到達地点

女川方面への道路
←



雄勝小学校跡地



昭和三陸津波の記念碑と解体工事中の雄勝総合支所



小学生達の避難路となった新山神社



石巻市雄勝地区

小学校と中学校の場所を確認する目的で訪れた雄勝地区には殆ど何も残っていなかった。仮設店舗に居られた靉職人の方に色々と地域の被災前後のことを教えて頂いた。

← 総合支所敷地内に建てられた津波記念碑と仮設店舗群